



南小だより



学校教育目標 自信をもち 自分の力を発揮する子

「読書しない子、10年で1.5倍 半数超える」

このような記事が月曜日の新聞に載りました。「1日の中で読書する時間が0分」と答えた子の割合は、学年が上がるとともに増加し、小1～高校生全体では52.7%にまで及んでいます。(2015年は34.3%)

【※ベネッセコーポレーション調べ】



調査ではこのほか、読書時間と語彙力(言葉をどれくらい知り、適切に使いこなせるかの能力)の関係や保護者が与える影響なども調べています。(以下)

- 1 読書時間が長い子どもほど、語彙力が高い。
- 2 保護者が「自分の能力を高めるために勉強をしている」家庭ほど読書をしない割合は低い。
- 3 本や新聞を読むことの重要性を説明している家庭は、そうでない家庭と比べ、読書しない割合が20ポイント以上低い。
- 4 学力と読書の関係は示されており、子どもに読書習慣をつけることが社会に求められている。(秋田喜代美・学習院大学教授)

少々耳の痛い言葉が並びますが、客観的な数字から示されると、反論の余地がありません。

一昨日、本校を会場に岳洋学舎学校運営協議会が開かれ、「子どもの読書環境の充実について」を議題に話し合いをしました。そして、学校、家庭、地域がそれぞれの立場でできることをさらに進めていかなければならないことを確認しました。

本校では、「ぐりとぐら」による読み聞かせ、家読(うちどく)や読書カード等の取組があります。子どもたちに読書の楽しさを伝え、学力を向上させていくために、これまで同様の御協力をよろしくお願いいたします。

(校長 杉山豊和)

*毎日の学校生活の様子を「小笠南小ニュース」で紹介しています。

是非、御覧ください。

<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ogasaminami/news.html>

